

生徒のみなさんは必ず保護者の方に渡してください。

西尾が丘

令和6.3.1
直方第二中学校
校長 川原 国章
第14号



「一期一会」を大切に

いちごいちえ
一期一会とは、「人との出会いや物事を行う機会は生涯で一度きりであり二度と同じ機会は訪れない、だから一度きりの機会を大切に」

という意味で用いられることわざです。もともとは^{せんりのりきゅう}千利休の言葉で、「茶席に臨むにあたり、同じ機会は二度とないということを肝に銘じて誠心誠意を尽くすこと」という茶道の心得と伝えられています。3年生の卒業が近づいてきました。じわじわと「別れの寂しさ」が胸に迫ってきているのではないのでしょうか・・・。

(1・2年生は来年・再来年を想像して読んで下さいね!)

3年生は、この3年間、先輩や後輩、先生方とのたくさんの出会いや別れがあったと思います。一期一会を大切に、これから続く長い人生で繰り返される「出会い」と「別れ」、それは「喜び」と「悲しみ」でもあります。四季を繰り返すごとに強くたく成長する木々のように、まさに「出会いと別れが人を育て、強くする」のです。そこで、卒業する3年生へ、今後も大切にしたい3つのこととお話しします。

一つは、「失敗を恐れるな」ということです。

4月から皆さんはそれぞれの道を歩き始めます。そして、その行く先々で挑戦がまっていることでしょう。挑戦した場合、必ずしも成功するとは限りません。当然、失敗することもあります。しかし、失敗を恐れていては、さらに前へ進むことはできません。成功は、皆さんの気持ちを元気にし、勇気を与えてくれます。失敗は、皆さんの経験値を高め、皆さんを強くしてくれます。様々なことに挑戦・チャレンジしてさらに人として成長して行ってください。

ありがとう



二つは、「自分で考え判断する力を身につける」ということです。

高度情報社会が進展する中、皆さんの周りには様々な情報が溢れています。自分で考え判断することなく情報を信じたり、鵜呑みにしたりしてしまうことがないようにしましょう。コストパフォーマンスやタイムパフォーマンスが重要視される現在、人はじっくりと立ち止まって思考することをしなくなっているように感じます。時には立ち止まってじっくり考えることも大切ではないでしょうか! 判断するにあたっては、様々な情報をあらゆる角度から収集し、自ら考えることが皆さんを成長させます。

三つは、「寛容な心を持つ」ということです。

インスタグラム、ツイッターなどSNSの普及により、誰もが自分の考えや気持ちを簡単に発信することができるようになってきました。しかし、最近の様子を見ていると他者を批判したり、自分の価値観を押しつけたりするなど、社会全体が他者に攻撃的な態度で臨む風潮にあるように感じています。寛容な心を持つことは、他者に安心感を与えるだけでなく、自分自身の心も豊かにしてくれると思います。寛容な心を持ち、自分自身の心を豊かにするだけでなく周囲の人も温かな気持ちにさせるような人になってください。

有終の美を飾ろう!

「有終の美を飾る」という言葉には、「最期の締めくくりをしっかりとし悔いを残さない」という意味があります。次のことを大切にしてください。

1 「学習の締めくくりをする」

「できること」と「できないこと」を見つめ直しましょう。「できること」は、さらに「できる」ように、「できないこと」は、あきらめずに「できる」ように努力しましょう。

2 「生活の締めくくりをする」

人として・中学生として、あたり前のことがあたり前にできているかどうか見つめ直しましょう。慣れや甘えからあたり前のことをおろそかにしないようにしましょう。

3 「学校をきれいにする」

この一年間お世話になった教室・廊下・机・椅子など、感謝の気持ちを込めてきれいに掃除しましょう。掃除をすることで自分の心も磨くことができます。

4 「今を最高に生きる」

今の学級・学年での生活を大切に、何事にも全力で取り組みましょう。そして、仲間や先生方との絆をさらに深めましょう。

